



いま、手洗い習慣を見直そう！

3月に入って寒さも少し和らぎ、春の気配が漂ってきました。

今年もここまで寒い時期の感染症の代表、インフルエンザや新型コロナの流行もありましたが、感染症対策の一つでもある手洗い、みなさまの身の回りでは、習慣として浸透し、上手に行えているのでしょうか？

「上手な手洗い」の目的は、やり残しなく、微生物（雑菌）レベルの汚れをしっかりと落とすことです。そのためには上手な手洗いを行うことができる「環境」とそれがうまく機能しているかの「検証」と「改善」が重要だと考えます。

「環境」にはハードとソフト。30~35度くらいのぬるま湯が出る、忙しい時間帯でもなるべく待ち時間のない非接触型の水栓、広くしっかり洗えるシンク、手荒れしにくい石鹸、

清潔な使い捨てペーパータオルなどがあることがハードの理想です。明るく、床は乾燥しているといった、見た目にも清潔な環境というのもよいですね。次に、手洗いのルールが見える化されていて、誰でも同じレベルの手洗いができ、それが実行できるための注意や教育が入場する人全員にいきわたっているというソフトも重要です。このハードとソフトが両立していることで、理想的な手洗いが実現します。

「検証」と「改善」は、上手な手洗いを行い続けるために、ぜひ取り入れていただきたいものです。環境が整っているかどうかを定期的を確認しましょう。例えば、上手に手洗いができているかの確認には手洗い後に「手洗いチェッカー」を用いて確認してみると、手洗いが上手に



図1：手洗いチェッカー 図2：洗い残し見える化！

できているか、弱点はどこかが見える化できます。手洗いチェッカーのコツを交えた使い方をまとめます。

- ①：さっと手を水洗い
 - ②：ハンドクリーム（市販の手指用のもの）を手全体に塗ります
 - ③：専用ローションをワンプッシュ 約1mL、手に取り、全体に塗ります
 - ④：普段通りの手洗い
 - ⑤：専用ライトで照らす（洗い残しが濃く明るく光ります！）
- ※専用ローションはかなり強く光りますので、周囲に飛び散らないよう注意！

出会いと別れの季節、ルールの見直しにはいい時期です。まずは上役や役職者の方が改めて手順通りにできるか、ルールを確認しながらやってみると、新たな気付き、ルールの改善につながりやすいです。

正しい衛生習慣や衛生グッズなど、弊社にぜひお気軽にお問い合わせください。



今月の豆知識

接着剤のナゾとちょっとしたコツ

何かが取れたり外れたり。そんな時、ちょっとした補修に接着剤を使うこともあるでしょう。ところで、接着剤ってどうやってくっついているのでしょうか？

実はこれ、正確に答えることができないのです。諸説ありますが、接着剤がデコボコ面をしっかりととらえることで、鏝（かすがい）となってくっつける説。化学変化で一体化する説、ぺったり隙間なくくっつくことで「分子間力」という力が働く説など…どれもそれっぽいですが、これだ、という結論はまだ出ていないそうです。

ところで、接着剤にはたくさん種類がありますが、素材によって接着できるものとできにくいものがあります。特にプラスチック類は多くの接着剤が苦手とするものがたくさんあり、うまくくっつかないことがあります。

強固にくっつけるには、相性を見極め、しっかり脱脂スプレーなどで油脂を除去し、水分やホコリも除去し、くっつける面をやすりなどで荒らすことをお勧めします。さらに、接着剤は隙間なくぴったり、乾くまで力をかけておくことでしっかりくっつけることができます。

瞬間接着剤（シアノアクリレート系）を使うときは予防でハンドクリームやワセリンを塗っておくと指がくっつきにくくなります。それでも貼りついてしまったらどうしましょう？そんな時は除光液（アセトン）をしみこませる、またはお湯の中でしばらく指をもみもみ動かすと少しずつはがれてくれることが多いです。

不思議で便利な接着剤。くっつける前にさまざまな情報の書かれたパッケージを読むことをお勧めします。